

2021年1月13日

日本原子力研究開発機構原子力科学研究所

所長 大井川 宏之 様

日本共産党 茨城県議会議員 山中たい子・江尻加那

〃 東海村議会議員 大名美恵子

〃 日立市議会議員 小林真美子・千葉達夫

〃 ひたちなか市議会議員 山形由美子・宇田貴子

原子炉 J R R - 3 について 2 月運転再開の中止を求める要請書

貴事業所の研究用原子炉 J R R - 3 について、今年 2 月の運転再開が予定されています。東京電力福島第一原発事故以来、原子炉の安全性が厳しく求められる状況にあり、研究炉であっても放射性物質を環境に放出するリスクはゼロにならず、事故等に対する住民の不安は拭えません。

さらに、現在の新型コロナウイルス感染拡大下において、運転再開に向けた住民説明会の開催は妥当な対応とは言えません。

よって、下記事項を踏まえ、2 月の運転再開を中止するよう申し入れます。

記

1. 原子炉本体は 1990 年の初臨界から 30 年経過し、建家や排気筒、設備の多くは 60 年以上経っており、大規模地震等に十分な余裕をもって耐えられるのか。また、通常時の安全管理や非常事態における危機管理体制や人材が確立されているのか懸念される。
2. 10 年以上運転を停止してきた原子炉の起動時は、とくにトラブルが懸念される。
3. 運転再開に関する住民説明会を、1 月 14 日～24 日に東海村、日立市、ひたちなか市で開催するとしているが、コロナ感染拡大による外出自粛が要請されている状況にあり、十分な住民参加の機会が保障されない。
4. 科学技術の進展に対する J R R - 3 における実験の有用性について、広く周知され、社会的理解が得られている状況にない。
5. 国の原子力災害対策指針にもとづき、約 5 k m の原子力災害重点区域 (U P Z) における屋内退避・避難誘導計画が策定されていない。

以上